

令和2年度八幡浜高校 一学期始業式
式 辞

校庭の桜が咲き競う春爛漫の季節になりました。いよいよ今日から令和2年度が始まります。令和元年度末、卒業生を送り出すことはできましたが、その後は臨時休校となり、終業式も離任式も行えず、又、部活動にも多くの制限がかかり、はっきりとした区切りをつけられないままフェードアウトしてしまいました。新2、3年生ともに心を一つ下の学年に置いたまま今日を迎えているのではないかと、少し心配です。

明日には、新入生185名が入学してきます。気持ちを新たに3年生は最上級生として、2年生は、中堅学年として、百二十周年を迎える八高を支えてください。

話は変わりますが、八幡浜駅に、私の高校の先輩が勤務していらっしゃいます。汽車を利用して出張に行くときなどに、言葉を交わします。その方が言うには、八幡浜駅の利用客の中で一番多いのは、高校生だそうです。ですからどうしても高校生に目がいきがちになる。近所の世話好きおじさんの目で見えてしまう。汽車から降りてくる高校生ははつらつとして駅がぱっとはなやかに感じる。駅もいろいろ協力してもらおうこともあるのでこれからもよろしく頼むよということでした。

このことは八幡浜駅だけでなく道の駅「みなと」に行っても同じお話を聞くことができます。千丈川の清掃活動や、地元に着した商業研究部をはじめとした、各種部活動の活躍が地域の皆さんの誇りであり、地域から大いに期待されていると実感しました。

そのような皆さんにお願いしたいことがあります。ごくありきたりなことなのですが、高校生活を送る上で最も基本であり大切な内容です。初心に帰るという意味において、あえてお願いしておきます。

1 勉強に一生懸命取り組み、八高の求める基礎学力をしっかりと身に付ける。

3年生にとっては進学するにしても、就職するにしても社会に出るための総仕上げの学年です。また、選挙権も順次持つことになる。地域社会の一員となるため意識を高く持ち、この1年間しっかり取り組んでください。

2年は、昨年1年間しっかりと土台作りに取り組んできたのではないのでしょうか。皆さんがさらに一歩前進するためには、1時間の授業を大切に、積み上げをしてください。

1年生は2、3年生をよき手本として、一日も早く八高の一員となるように今やるべきことをひたむきに取り組んでください。

2 遅刻・欠席をなくし、頭髪、服装などの身だしなみを整え、さわやかな挨拶ができるようになる。

心の健康は表情や態度・服装にも表れます。基本的な生活習慣がしっかり身についていると、周りからの信頼も厚くなります。毎日、休まず学校へ来るには、心と体の健康管理が必要です。体調管理も大切な能力です。

3 一人一役で、友達や学校、地域などに役に立つ人になる。

高校生にもなると、家庭や学校、地域社会の中で十分役に立てる体力や知力が身についています。ぜひ、自分の持っている能力を人のために役立ててください。人の役に立ち、頼りにされると、責任感が身に付くとともに、人の喜ぶ姿に感動し、充実感を味わうことができます。

以上3つのことをお願いします。

私たちは、たくさん喜び、たくさん感動するために生きています。私も思っています。でもその感動と喜びは、時にいやなことやしんどいことに根気強く、耐えてこそ、味わえるものです。先日は、職員会で先生方にも、皆さんを厳しく、しかし温かく鍛えてほしいとお願いしました。

この一年、全員が元気で、皆さんと私たち教職員が一緒になって、活気ある授業や部活動などでいい汗をかき、校内に明るい声が響いてくることを期待して、式辞とします。

愛媛県立八幡浜高等学校
校長 菊地 英明